

### 3. 久布白理事長からのメッセージ

「組織の主役は、あなたです」の言葉通り、トップ自らが現場の声に耳を傾ける姿勢を示すことが、組織の体温を上げる第一歩と考えています。

### 4. 対話を深める「トークテーマ」と「参加形式」

自然と会話が弾むよう、2つのアプローチで運用しています。

#### ●テーマ設定

自己紹介（仕事紹介）や「いまハマっていること」などを共有。趣味や日常の“ワクワク”を語り合うことで、仕事の顔だけではない多面的な魅力に触れます。

#### ●属性別とフリーの使い分け

年代・性別を絞った「属性別回」で安心感を提供しつつ、誰でも参加できる「フリー回」では世代を超えた化学反応を促しています。



#### ◎参加者の声

理事長の人となりや考え方に触れ、深く共感することができた

他部署の仕事内容や悩みを知り、組織全体への理解が深まった

仕事中には見えない仲間の意外な一面を知れて、うれしかった

自分の役割を再確認し、前向きに働こうと決意を新たにしました

自身の目標や思いを語ることで、役割を再確認できた

同世代との対話で「皆も同じだ」と安心し、前向きな元気が出た

### まとめ

本施策を通して見えてきたのは、理想の対話を実現する難しさと、それ以上に大きな可能性です。

実際に開催を重ねる中で、いくつかの「次なる課題」も見えてきました。たとえば、対話に集中するあまりお菓子に手が伸びづらかったり、理事長自身の熱い想いが溢れ、つい時間が足りなくなってしまう場面もありました。これらはすべて、組織をよりよくするための貴重な「伸びしろ」であると捉えています。

今後は、リラックスしてお菓子やお茶を味わう時間を冒頭に設けるなど運用の工夫を重ね、対話の質を高めるためのサポート体制もさらに磨いていく方針です。こうした試行錯誤のプロセスこそが、健康経営の本質であると考えられます。一人ひとりの“ワクワク”を組織の活力に変えるため、この挑戦はこれからも続いていきます。

\*「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

始めて  
います!

# 健康経営

本会の取り組みを紹介します



## 第15回

### 対話の力で組織を活性化する「理事長との語り場」

本会は、予防医学の専門機関として、本会で働くすべての従業員が予防医学活動の実践者として心身ともに健やかな状態を維持することが重要と考え、さまざまな取り組みを行っています。今回は、2025年2月から開始した「理事長との語り場」についてご紹介します。

### 役職の垣根を越えて語り合う、健康経営の新しいカタチ

#### 1. なぜ、今「語り場」なのか

健康経営において、従業員のワーク・エンゲイジメント（働きがい）を高めるには、職場の人間関係という「資源」が欠かせません。2025年2月、本会では理事長の久布白と従業員がフラットに向き合う「理事長との語り場」を開始しました。

単なる「顔合わせ」で終わらせず、一人の「人」として互いを知ること、心理的安全性の高い組織を目指すことを目的としています。

#### 2. 心理的ハードルを下げるための「環境づくり」のこだわり

##### ●五感を緩める「お茶とお菓子」

たとえば3月は春を感じる銘菓を用意。おいしいものを共有する体験が、いつもの会議室にはない「柔らかな空気」を生むきっかけになります。

##### ●あえて「着席」でじっくり向き合う

立食ではなく、腰を落ち着けて視線を合わせるスタイルを採用しました。お茶を楽しみながら、楽しく和やかな45分間を設計しています。

